

平成31年度
北区飛鳥山博物館事業計画
(修正版)

2019. 3. 1

1 平成31年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

(1) 展示事業

○速報的展示の実施

資料調査の結果を速報的に展示し、広く公表する。

ミニ展示：No.1

(2) 講座・講演会事業

○利用者の拡充

新たな利用者が参加できるような講座の工夫を行う。新規講座の開催や、未就学児や小中学生が参加できる講座を開催する。

・新規講座

一般講座：No.2・No.6・No.10・No.11・No.12・No.20・No.26・No.27・No.29
No.33

展示関連講座：No.1・No.2・No.3・No.4・No.8・No.10・No.11・No.12

夏休みわくわく講座：No.8・No.10

・未就学児向け講座

一般講座：No.18・No.21

夏休みわくわく講座：No.7・No.8

・小中学生向け講座（夏休みわくわく講座以外）

一般講座：No.4・No.18・No.20

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	3回
特別展覧会	1回
夏休みわくわく展示	1回
学校対応事業展示	1回
スポット展示	1回
ミニ展示	1回
常設展示室活用展示	2回
その他の展示	1回
計	11回
(平成30年度	11回)

(2) イベント

夏休みわくわく	
ミュージアム	1回
計	1回
(平成30年度	2回)

(3) 講座・催し物

一般向け講座	32講座	41回
展示関連講座	12講座	13回
わくわく講座	13講座	28回
計	57講座	82回
(平成30年度	63講座	87回)

平成31年度の事業

※名称は仮称、実施日・回数は予定。

1. 展示

★ 企画展 3回（内1回は30年度事業）

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	平成30年度春期企画展「明治＊東京＊名所—うつろいゆく風景と名所—」	3月19日（火）～ 5月12日（日）	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉 江戸の面影と文明開化の風景が混在した明治時代の東京名所について、当館の所蔵資料を通じて紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉 幅広い客層を誘致する。利用者拡充。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	秋期企画展「Que nous disent les photos anciennes? 古写真はわたしたちに何を伝えるのか?—写された幕末明治・北区の名所—」	10月26日（土）～ 12月15日（日）	特別展示室 ホワイエ	石倉
<p>〈概 略〉 館蔵の古写真コレクションには、国内最古級とも評されるロシェ撮影のステレオ写真も含まれ、写真史上、特筆すべき資料を有している。本展示は、幕末維新时期を軸に地域を撮影した資料を中心に、浮世絵等の絵画資料とは異なる、地域の景観情報を紹介することを目的としている。展覧に際しては当館所蔵資料のほか、長崎大学・日本カメラ博物館・個人蔵・オックスフォード大・ニューヨーク市立図書館所蔵資料等（デジタル画像提供）も交え、約70点の作品を展覧する予定。</p>				
<p>〈ねらい〉 写真資料による、名所の景観テキスト性の分析を行い、近世から近代にかけての認識の枠組み（エピステーメー）の落差の魅力・地域像を明らかにする。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
3	春期企画展「飛鳥山三百年展—いかにして飛鳥山は名所となったのか?—」	3月18日（火）～ 5月6日（水・祝）	特別展示室 ホワイエ	石倉

<p>〈概 略〉</p> <p>飛鳥山は、享保5年（1720）、吉宗によって桜が植えられてから300年を閲し、今も花見の名所として親しまれている。また区立飛鳥山公園は日本最初の太政官公園でもあり、飛鳥山の歴史はすなわち日本の公園史と言っても良い位相を占めている。本展示では、飛鳥山開発の経緯を、吉宗の行った一連の都市政策として捉え、享保改革の地域展開の一例として紹介しつつ、身近な名所がもつ歴史的意義を明らかにしたい。</p>	
<p>〈ねらい〉</p> <p>既往の名所展示の成果を踏まえ、本展では文献資料を駆使し分析を加え、より深く飛鳥山開発の経緯と意義を明らかにしたい。</p>	<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>
<p>〈備 考〉</p> <p>徳川宗家の協力を仰ぎ、講演会ならびに公園史に係るシンポジウムの開催を予定している。</p>	

★ 特別展覧会 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	特別展覧会「第18回 人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」	9月14日（土）～ 10月14日（月・祝）	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作品を一堂に展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>今回も引き続き、美術工芸分野に関心がある層の新規来館を促す。利用者拡充。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>美術・工芸系の高校・大学・専門学校、またカルチャースクールにも範囲を広げて広報を行う。</p>				

★ 夏休みわくわく展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2019「北区のどうぶつ大集合！」	7月20日（土）～ 8月25日（日）	特別展示室	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>「夏休みわくわくミュージアム☆2019」の一環。動物にまつわる資料を一同に集めて紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館へ親しみを持ってもらう。（低学年）自由研究への素材提供。（高学年）</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小学生以上</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 学校対応事業展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、さわって！昔の道具展	2020年1月7日(火)～ 3月1日(日)	特別展示室	工藤
<p>〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の明治の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示。</p>				
<p>〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 小学生および一般</p>	
<p>〈備 考〉 学校対応は展示と共に昔の道具（既製品）を使う体験事業とセットで行う。一般の方の展示観覧は土・日・祝日および平日の学校見学が入っていない時間帯。</p>				

★ スポット展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	赤レンガ図書館建造 100 年記念展	5月25日(土)～ 6月23日(日)	特別展示室	田中
<p>〈概 略〉 旧 275 号棟の建造物としての紹介、および中央図書館としてリノベーションされた過程を、博物館収蔵の建築部材、図面、写真を中心に展示する。【展示資料】赤レンガ棟模型、旧 275 号棟の煉瓦、丸型木製ガラリ、ペンダント型電燈の笠および電気コード、吊戸の扉、吊戸の金具、スイッチボックスおよびスイッチ、トラスの一部、安藤組写真帳（田中煉瓦文書）、調査写真、設計図面など</p>				
<p>〈ねらい〉 赤レンガ図書館として親しまれている建物の歴史を知る。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉 中央図書館で行う建造 100 周年行事とのコラボレーション。</p>				

★ ミニ展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	凹みが語る縄文文化	12月21日(土)～ 3月1日(日)	常設展示室	安武
<p>〈概 略〉 七社神社前遺跡出土の浅鉢形土器の植物の種子痕跡の分析結果を速報展示するもの。分析方法や結果、そこからわかる縄文人の植物利用について紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉 最新の調査成果の公表。縄文文化への理解や関心を高める。常設展示の利用促進。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	

〈備 考〉

★ 常設展示室活用展示 2回（内1回は30年度事業）

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ?—懐かしの暮らしと道具—」	3月21日(木・祝)～ 6月16日(日)	常設展示室	工藤
〈概 略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				
2	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ?—懐かしの暮らしと道具—」	2020年3月15日(土)～ 6月14日(日)	常設展示室	久保埜
〈概 略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				

★ その他の展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	東京9区文化財古民家紹介展示「来て見て発見!はじめよう文化財古民家めぐり」	未定	東京区政会館	山口 田中
〈概 略〉指定文化財の古民家を保存・公開している都内9区が合同で各古民家の見どころを紹介すると共に、かつての古民家での暮らしや移築前の建物の様子など、今では見ることのできない、古民家の姿をパネル展示する。				
〈ねらい〉 古民家への理解促進。				
〈備 考〉				

2. イベント

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2019	7月20日(土)～ 8月25日(日)	特別展示室 ホワイエ 常設展示室 体験学習室	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>博物館で北区の魅力を再発見してもらうために、館内各地でさまざまな催し物を行う。特別展示室では「北区のどうぶつ大集合！」を実施（概要は夏休みわくわく展示参照）。ホワイエでは「地域しらべのススメコーナー」を設置し、自由研究をサポートする。また、同じホワイエにおいては「絵本&ぬり絵コーナー」を設置。常設展示室では楽しんで展示を巡る「ブラック・コン吉を探せ！」を行う。さらに、体験学習室を中心に各所講座を開催する（詳細は夏休みわくわく講座参照）。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>夏休みの自由研究の宿題につながる催し物とする。また、絵本&ぬり絵コーナーとブラック・コン吉を探せ！は未就学児でも博物館を楽しんでもらうために実施。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小中学生とその家族</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

3. 講座・講演会

★ 一般講座 33 講座 42 回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	北区民俗学講座「北区の旧村地域を歩くー浮間編ー」	5月18日(土)	講堂 野外	30名	工藤
<p>〈概 略〉</p> <p>対象地域を風習や民俗が最も色濃かった江戸時代の旧村地域とし、参加者と共に現地を歩くことで、現代に残る民俗や、その民俗がどのように変化してきたかを参加者に紹介する。今回は対象を浮間地域とし、実際に参加者と共に現地調査を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>自身が暮らす地域に対し、新たな視点を獲得することで地域への愛着を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
2	みる・よむ・わかる！『江戸名所 図会』	5月19日(日)	講堂	80名	石倉

<p>〈概 略〉 名所図会の言説と絵画を読み解き、都市・江戸の魅力を探る講座。今回は北区の名所を紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 近世北区の名所について理解を深めるとともに、基本的な文字の読み方（変体仮名等）のリテラシー能力を育成する。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
3	飛鳥山3つの博物館合同企画「歴史発見！街めぐり2019」	5月25日(土)	講堂 野外	35名	鈴木
<p>〈概 略〉 区内に遺された、飛鳥山3つの博物館にまつわる史跡などを3館の学芸員がレクチャーを交えながらめぐる。巡見地は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 街に残る身近な歴史を、自らの足でたどって実感してもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
4	北区ジュニア考古学クラブ「遺跡を歩こう！」	6月2日・9日各(日) 全2回	講堂 野外	16名	安武
<p>〈概 略〉 整備されていない遺跡を訪ね、古代人の痕跡を探るもの。希望者とは夏休み期間を利用して、遺物整理を行い、調査カードを作成する。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。現地見学にはマイクロバス使用。</p>					
5	北区遺跡学講座 2019 春「宮堀北遺跡」	6月8日(土)	講堂 野外	30名	牛山
<p>〈概 略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
6	イチから知る、広重『絵本江戸土産』	6月16日(日)	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉 広重の「名所江戸百景」とほぼ同時期に制作された「絵本江戸土産」を題材に都市・江戸の魅力</p>					

紹介する。					
〈ねらい〉 名所理解を深める。変体仮名の読み方を習得する。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
7	お富士さん直前！北区富士塚めぐり	6月26日（水）	講堂 常設展示室 野外	20名	田中
〈概 略〉 午前に講堂・常設展示室にて区内の富士講資料を紹介しながら富士講について講義し、午後に十条富士塚と近郊の富士塚（登頂可能な富士塚1・2か所）をまわり、現地解説する。					
〈ねらい〉 区内の富士信仰について知る。指定文化財の十条富士塚などを現地でみることによって、富士塚の構造を理解し、関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
8	北区民具学講座「民具が教えてくれること2」	6月29日（土）	講堂	30名	工藤
〈概 略〉 北区有形民俗文化財である旧竹之内家生活用具を用いて、実物資料から赤羽地区における人々の生産生活や、地域の特徴を参加者と共に読み解く。					
〈ねらい〉 博物館における民俗資料の見方を獲得することをねらいとする。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
9	第34回新聞から読む考古学ー2019年上半期を振り返るー	6月30日（日）	講堂	60名	鈴木
〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2019年上半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
10	『少年倶楽部』で読み解く昭和14年	7月13日（土）	講堂	80名	石倉

<p>〈概 略〉</p> <p>圧倒的な人気を誇った少年雑誌の昭和 14 年（1939）9月号を題材に当時の日本の世相、そして第二次世界大戦勃発直前の国際情勢を、誌面から紹介する。アジア太平洋戦争における子ども雑誌メディアの歴史的位相を明らかにしたい。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>子どもたちに戦争はどのように伝えられたのか？平時から戦時への変容がメディアにどのように表現されたのかを紹介する。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>中学生以上</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
1 1	ヴィジュアルでわかる！浮世絵で知る北区の魅力	8月25日（日）	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>王子・飛鳥山・滝野川を描く浮世絵を画像学的に分析し、地域の魅力を紹介する講座。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>浮世絵資料を歴史資料として活用し、地域の名所理解を深める一助といたしたい。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
1 2	ほぼ分かる、江戸時代の北区の村	9月22日（日）	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>『新編武蔵風土記稿』などの地誌紀行文や村絵図、古文書等を題材にして北区の村を紹介する。今回は、王子村を扱う。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>近世の地域像に対する理解を深めることを目的とする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
1 3	文化財めぐり	10月4日（金）	講堂 野外	30名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>王子神社から旧古河庭園まで国・都指定文化財の紹介を中心に現地で解説を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>区内の文化財の周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。昼食を挟んだ午前・午後通しの講座とし、密度の濃い説明を行う。日本醸造協会、渋沢史料館、旧古河庭園管理センターへ説明協力を仰ぐ。文化財ウィーク参加事業。</p>					

14	勾玉ストラップをつくろう！	10月5日(土)・6日(日)計2回	体験学習室	各回 100名	鈴木
<p><概 略> 石を研いでミニサイズの勾玉を作り、ストラップにする。</p>					
<p><ねらい> 区民まつりに参加し、普段博物館をあまり利用しない人に身近に感じてもらうようにする。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
15	北区民俗学講座「北区の旧村地域を歩くー滝野川村編ー」	10月19日(土)	講堂 野外	30名	工藤
<p><概 略> 対象地域を風習や民俗が最も色濃かった江戸時代の旧村地域とし、参加者と共に現地を歩くことで、現代に残る民俗や、その民俗がどのように変化してきたかを参加者に紹介する。今回は対象を滝野川地域とし、実際に参加者と共に現地調査を行う。</p>					
<p><ねらい> 自身が暮らす地域に対し、新たな視点を獲得することで地域への愛着を深める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
16	東京9区文化財古民家めぐり「旧松澤家住宅説明会」	10月20日(日)午前・午後 計2回	北区ふるさと農家体験館	各回 30名	山口
<p><概 略> 北区ふるさと農家体験館運営協議会と共同で見学会を行う。ふだん見ることができない屋根裏も公開。</p>					
<p><ねらい> 古民家への理解促進を図る。北区ふるさと農家体験館運営協議会とのコラボレーション。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
17	北区遺跡学講座 2019 秋「七社神社前遺跡」	10月22日(火・祝)	講堂 野外	30名	牛山
<p><概 略> 区内内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。</p>					
<p><ねらい> 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		

<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
18	ちびっこ体験講座「あすかやまの どんぐりで、おもちゃをつくろ う！ーでんでんだいこ編ー」	10月26日（土）	体験学習室 飛鳥山公園	30名	安武
<p>〈概 略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内に落ちているどんぐりを拾って、オリジナルのでんでんだいこ と、牛乳パックマラカスを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡充を図る。</p>			<p>〈対 象〉 3・4・5歳児と保護者</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。開催時間を午前に設定。野外活動を伴うため、雨天時の予備日を設ける。</p>					
19	川柳で知る江戸の暮らし	2月16日（日）	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉 江戸時代の庶民の哀歓を記す川柳を題材に、庶民の生活史を明らかにする講座。</p>					
<p>〈ねらい〉 当館ではスタッフ的に実施できない江戸文芸資料を使った文化 史講座を実施することにより、より近世史への関心を惹起すること が可能となる。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。外部講師：谷田有史氏（たばこと塩の博物館学芸員）</p>					
20	歩く勉強会～リチギにたどる区 界	11月3日（日）・4日 （月・祝） 全2回	講堂 野外	20名	久保埜
<p>〈概 略〉 「歩く勉強会」は過去にシリーズで実施した講座。今回は北区の区界の一部（田端～滝野川～十条 付近）をたどりながら、周辺地域の変遷を知る。</p>					
<p>〈ねらい〉 現地を訪ねることで地域への関心と理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。1回目は座学と見学、2回目は見学。</p>					
21	ちびっこ体験講座「あすかやまの どんぐりで、おもちゃをつくろ う！ーマラカス編ー」	11月9日（土）	講堂 野外	30名	安武
<p>〈概 略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内に落ちているどんぐりを拾って、紙筒マラカスを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡充を図る。</p>			<p>〈対 象〉 1・2歳児と保護者</p>		

<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
22	駅弁掛け紙の図像学	11月16日(土)	講堂	80名	石倉
<p>〈概略〉 戦前から戦後、鉄道文化を彩った駅弁の掛け紙を時代背景とともに読み解き、全国各地の景物がいかに表象化されたのかを具体的に紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 昨年度に引き続き、昭和時代を中心に解説を施す。ロラン・バルト、ルイ・マランなどの現代フランス記号分析の方法で、掛け紙の図像解読を行う。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
23	文化財講演会「(未定)」	11月17日(日)	講堂	80名	山口
<p>〈概略〉 外部講師を招いて講演会を行う。内容は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区内の文化財について、多くの方々に感心をもってもらい、文化財保護に対する理解を促進する。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。外部講師を招く予定。</p>					
24	考古楽講座 遺跡に行こう！秋	11月23日(土)・24日(日) 全2回	講堂 野外	30名	鈴木
<p>〈概略〉 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会のような団体への発展を促す。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。昨年度に引き続き「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の実地踏査、当日の見学会までを行う。</p>					
25	北区民俗学講座「民俗調査の理論と方法」	3月21日(土)	講堂	60名	工藤
<p>〈概略〉 民俗学史の中でも研究方法に注目し、解説をする。</p>					

<p>〈ねらい〉</p> <p>民俗学の調査方法を知り、参加者が民俗学的な視点をもって区史や地域史を読むことや、地域を見つめることができるようにする。</p>		<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>			
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
26	文化財公開事業「稲付の餅搗き唄」の実演と体験	12月7日(土)	北区ふるさと農家体験館	300名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>区指定無形民俗文化財の「稲付の餅搗唄」の実演を継承地域の付近の体験館で実施する。併せて、見学者にも実際に餅を搗いてもらう。地元の西が丘小の児童に参加してもらうことで、土地に伝わる伝統芸能についての小学校への取り組みを区民等に知ってもらう。ついた餅は見学者にふるまう。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>区指定無形民俗文化財「稲付の餅搗唄」の周知を図り、文化財啓発を図る。また、西が丘小、赤羽商業高校等の参加を促し、次世代への文化財継承の一助とする。</p>		<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>			
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
27	知れば知るほど面白い江戸の暮らし『守貞謾稿』を読む	12月15日(日)	講堂	80名	工藤
<p>〈概 略〉</p> <p>江戸時代のモノ資料に関する絵引き資料である『守貞謾稿』を題材に、当時の生活史を明らかにする講座。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>図像から生活史を学ぶ講座。また道具の使い方について江戸と大坂を対比しつつ解説を施し、歴史学と民俗学をモノでつなぐ講座と致したい。</p>		<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>			
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
28	第35回新聞から読む考古学—2019年下半期を振り返る—	12月22日(日)	講堂	60名	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは!と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2019年下半期の記事を取り上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>		<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>			
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					

29	考古楽講座<中級編>考古学を 学ぶー装身具の話ー	1月25日(土)・26日 (日)全2回	講堂	60名	鈴木 安武
<p><概 略> 古代の装身具を取り上げ、その特徴や装着方法、制作方法などを解説する。</p>					
<p><ねらい> 考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。</p>					
30	対話型鑑賞のすゝめく見て→考え て→話して→聞く>	2月1日(土)	講堂	60名	工藤
<p><概 略> 収蔵資料を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。</p>					
<p><ねらい> 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的 で深い学びを促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
31	北区の考古学<地域編>田端	2月8日・15日・22 日 各(土) 全3回	講堂	60名	牛山 鈴木 中島
<p><概 略> 北区内の1地域に注目して、その地域の古代の諸相について解説する講座。今回は田端地域を時代 ごとに解説する。考古担当学芸員によるリレー講座。</p>					
<p><ねらい> 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。牛山：弥生時代・鈴木：古墳時代・中島：飛鳥～奈良時代</p>					
32	考古楽講座 遺跡に行こう！春	2月29日(土)・3月 1日(日) 全2回	講堂 野外	30名	鈴木
<p><概 略> 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。</p>					
<p><ねらい> 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会 のような団体への発展を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。昨年度に引き続き「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の実地踏査、</p>					

当日の見学会までを行う。					
33	考古楽講座「古代のモノづくりー 貝輪ー」	3月28日(土)	体験学習室	32名	安武
〈概 略〉 縄文時代と同じ方法で、ベンケイガイを使って腕輪を作るもの。					
〈ねらい〉 考古学への興味を高める。新たな利用者の獲得。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。「考古楽講座<中級編>」との関連が深い講座のため、希望者多数の場合は2回開催も検討。					

★展示関連講座 12講座 13回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	春期企画展関連講演会「汽車が 走る。名所が変わる！ー鉄道が 変えた北区ー」	4月20日(土)	講堂	80名	久保埜
〈概 略〉 鉄道の開業が北区域の名所に及ぼした影響や、観光路線としての王子電車について、外部講師を招いてお話いただく。					
〈ねらい〉 幅広い客層を誘致する。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。講師：黒川徳男氏(國學院大學兼任講師)					
2	春期企画展関連ミニ講座&巡見 「明治の東京名所を訪ねて」	4月27日(土)	講堂 野外	20名	久保埜
〈概 略〉 明治時代の東京名所に関する講義の後、現在の様子を巡見する。巡見は皇居周辺を予定。					
〈ねらい〉 街歩きに関心の高い人々を誘致する。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
3	春期企画展展示解説「展示でた どる明治*東京*名所」	5月12日(日)	特別展示室	30名	久保埜
〈概 略〉 担当学芸員が企画展の内容を詳細に解説する。					

〈ねらい〉 展示への理解を深める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。当日先着順。					
4	スポット展「赤レンガ図書館建造 100 年記念展」展示解説	6月1日（土）	特別展示室	30名	田中
〈概 略〉 担当学芸員が展示の内容を詳細に解説する。					
〈ねらい〉 展示への理解を深める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。当日先着順。					
5	特別展覧会付帯事業「金工に親しみ学ぶ講座」	9月16日（月・祝）	体験学習室	13名	久保埜
〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。					
〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。日程変更の可能性あり。					
6	特別展覧会付帯事業「陶芸に親しみ学ぶ講座」	9月21日（土）	体験学習室	13名	久保埜
〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。					
〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。日程変更の可能性あり。					
7	特別展覧会付帯事業「人間国宝に学ぶ！鍛金体験講座」	9月28日（土）午前・午後 計2回	体験学習室	各回11名	久保埜
〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、人間国宝・奥山峰石氏を講師に迎えて、金属のストラップなどを製作する。					
〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。		〈対 象〉 一般			

<p><備 考> 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
8	特別展覧会付帯事業「工芸の現場—作家のアトリエ訪問—」	10月12日（土）	作家アトリエ	10名	久保埜
<p><概 略> 出展作家の工房で実際の作業を見学し、工程の一部を体験させてもらう。</p>					
<p><ねらい> 美術や手芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。日程変更の可能性あり。</p>					
9	特別展覧会付帯事業「作家が語る！作品解説」	10月14日（月・祝）	特別展示室	20名	久保埜
<p><概 略> 制作の意図や技術についてより理解を深めてもらうことを目的として、出展作家（4～5名）が自らの作品の意図や技法などについて解説をおこなう。</p>					
<p><ねらい> 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
10	ミニ展示関連特別講演会「縄文人と植物利用」	1月13日（月・祝）	講堂	60名	鈴木
<p><概 略> 七社神社前遺跡出土の浅鉢で検出された植物の種子痕跡について、外部講師を招いて講演いただく。1名はレプリカセム法について。もう1名は縄文時代の植物利用について。</p>					
<p><ねらい> 新発見の調査の成果を広く公表する。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。講師は阿部芳郎氏（明治大学文学部教授）・佐々木由香氏（株式会社パレオ・ラボ統括部長）を予定。</p>					
11	春期企画展講演会「(未定)」	中止	講堂	80名	石倉
<p><概 略> 展示に関連して外部講師をお招きし、講演会を開催。内容は未定。</p>					
<p><ねらい> より専門的な内容を外部講師から紹介してもらう。</p>			<p><対 象> 一般</p>		

〈備考〉

新規講座。外部講師は未定。

★ 夏休みわくわく講座 13 講座 28 回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	夏休み土器づくり教室	7月21日(日)・26日(金)・8月4日(日)・9日(金)・18日(日) 計5回	体験学習室	各回 16組 32名	鈴木 安武
〈概 略〉 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。					
〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。			〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組		
〈備考〉 継続講座。親子で1つの土器を作る。					
2	夏休み勾玉づくり教室	7月24日・31日・8月7日・14日・21日 各(水) 計5回	体験学習室	各回 16組 32名	鈴木 安武
〈概 略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。					
〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。			〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組		
〈備考〉 継続講座。保護者も製作可。					
3	はくぶつかん探検隊	7月23日・30日 各 (火) 計2回	体験学習室 館内	各回 30名	工藤
〈概 略〉 普段は入れない博物館の裏側(常設展示室や館内、バックヤードなど)を担当学芸員の案内で探検する。最後に博物館の仕事を見学したり、館内で働いている人にインタビューしたりしたことを、まとめて発表する。					
〈ねらい〉 博物館に愛着を持ってもらう。			〈対 象〉 小中学生		
〈備考〉					

継続講座。					
4	江戸の縁起物【絵馬】を作ろう！	7月25日・8月8日 各（木） 計2回	体験学習室	各回 16組 32名	石倉
〈概 略〉 板にポスカで塗って昔ながらの絵馬を作る。					
〈ねらい〉 近世の縁起物の奥深い世界を、体験学習を通じて学ぶ。			〈対 象〉 小学生～中学生と保護者の2名1組		
〈備 考〉 継続講座。					
5	チャレンジ！昔の手仕事～藍染	7月27日（土）・28日 （日） 計2回	体験学習室	各回 24名	久保埜
〈概 略〉 藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。					
〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。			〈対 象〉 小学生2名までと保護者1名の2～3名1組		
〈備 考〉 継続講座。					
6	牛乳パックで行燈づくり	8月1日（木）	北区ふるさと農家体験館	16組 32名	山口
〈概 略〉 牛乳紙パックと豆電球を使って、昔の灯りの道具・行燈を作る。完成後は古民家で昔の暗さを感じつつ、灯りをとます。					
〈ねらい〉 昔の明かりの明るさを体験してもらおう。北区ふるさと農家体験館の周知。			〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組		
〈備 考〉 継続講座。					
7	昔のおもちゃを作って、いっしょに遊ぼう	8月2日（金）	体験学習室 講堂	32名	久保埜 鈴木
〈概 略〉 割り箸鉄砲など、昔ながらの手作りおもちゃを作り、全員で実際に遊んでみる。					
〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。			〈対 象〉 年長～小学生2名までと保護		

				者1名の2~3名1組	
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
8	へんしんっ!やよいじん	8月3日・17日 各 (土) 計2回	体験学習室 常設展示室	各回 20名	安武
<p>〈概略〉 弥生人の衣食住にかかわる体験として、常設展示見学をしたのちに貫頭衣（素材にはビニル袋もしくは不織布を使用）とミニ勾玉を作り、それらを着用して、常設展示室の竪穴住居前で写真撮影をする。</p>					
<p>〈ねらい〉 常設展示の利用促進と利用者層の拡充を図る。</p>			<p>〈対象〉 3・4・5歳児とその保護者1名（2~3名1組）</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
9	夏休み縄文人なりきり体験教室	8月6日(火) 午前・午 後 計2回	講堂 搬入口付近	各回 30名	安武 鈴木
<p>〈概略〉 外部講師に依頼し、縄文時代の衣食住にかかわる体験（縄文服体験、火おこし体験、弓矢体験、石皿・磨石体験など）を行うもの。参加者には「なりきり縄文人認定証」をプレゼントする。</p>					
<p>〈ねらい〉 縄文文化への理解や関心を高める。他機関とのコラボレーション。</p>			<p>〈対象〉 小学3年生~中学生2名までとその保護者1名の2~3名1組</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。東京都埋蔵文化財センターとの共同事業。</p>					
10	親子で浮世絵鑑賞教室	8月10日(土)・20日 (火) 計2回	講堂	各回 30名	工藤
<p>〈概略〉 当館所蔵の浮世絵を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。</p>					
<p>〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。親子で対話型鑑賞法を実践することで、正誤のある問題に正答することと同じか、それ以上に、答えのない問いについて考えることが大切だということを、保護者の方々に知ってもらおう。</p>			<p>〈対象〉 小学生とその保護者</p>		

<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
11	チャレンジ！昔の手仕事～カゴを編む	8月11日（日）	体験学習室	24名	久保埜
<p>〈概 略〉 親子を対象に、竹の代用材料を使って、小さなカゴを編んでみる。</p>					
<p>〈ねらい〉 手作業に関心の高い親子を対象に難度が高い内容を提供する。</p>			<p>〈対 象〉 小学生5年生以上の子ども1名と保護者1名</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。難易度★★★★。</p>					
12	博物館オリジナル・ブローチを作ってみよう	8月13日（火）	体験学習室	50名	久保埜
<p>〈概 略〉 29年度に実施した事業。常設展示室の資料をモチーフにしたオリジナル・ブローチを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 気軽に体験することで来館の満足感を高める。</p>			<p>〈対 象〉 子ども、一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。難易度★。先着順で参加できる体験講座とする。わくわくミュージアム期間中の来館者は子ども連れでなくても参加できることとする。</p>					
13	和のデザインで団扇作り	8月15日（木）・16日（金）計2回	体験学習室	各回 16組 32名	田中
<p>〈概 略〉 団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、骨に紙を貼って団扇をつくり、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。</p>					
<p>〈ねらい〉 昔の人は道具（団扇）を修理しながら大切に使っていたことを伝える。自分だけの団扇を作ることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					

4. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、さわって！昔の道具	2020年1月7日(火)～ 3月2日(日)	特別展示室 野外 講堂	工藤
<p>〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の明治の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示し、調べ学習を行う。また、昔の道具（既製品）を使う体験事業（かまど体験・せんたく体験を予定）とセットで行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 区内小学校中学年</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	体験授業（考古学）	通年（依頼に応じて実施）	体験学習室	鈴木 安武
<p>〈概 略〉 土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 大昔の人の技術や工夫を学ぶ。</p>			<p>〈対 象〉 区内小学校6年生</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
3	出張授業	通年（依頼に応じて実施）	依頼先学校	学芸員
<p>〈概 略〉 北区の歴史や自然、民俗に関することを学校に赴き授業を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 区内の小学校・中学校・ 高等学校</p>	
<p>〈備 考〉 内容によって担当学芸員を決定。</p>				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	事務員 学芸員
<p>〈概 略〉 博物館の業務に関して話をしたり、体験をしてもらう。</p>				
<p>〈ねらい〉 博物館の業務の理解を深めてもらう。</p>			<p>〈対 象〉 区内の中学校・高等学校</p>	

〈備考〉

5. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	7月30日(火)~8月11日(日)	館内	鈴木
〈概 略〉 準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。				
〈ねらい〉 学芸員の仕事を実際に行い、体験することで理解を深める。			〈対 象〉 大学等で学芸員養成課程を受講している人	
〈備考〉 3月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。担当は窓口。				
2	見学実習	通年(依頼に応じて実施)	館内	鈴木 石倉 久保埜 安武
〈概 略〉 一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
〈ねらい〉 博物館の実態を知ってもらう。			〈対 象〉 学芸員養成課程を開講している大学	
〈備考〉				

6. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年(依頼に応じて実施)	依頼機関	久保埜 工藤

<p>〈概 略〉</p> <p>博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>高齢者介護施設など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂	学芸員
<p>〈概 略〉</p> <p>外部機関からの依頼に応じて講義を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>依頼機関への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>当館講堂で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。</p>				

7. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般団体</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。</p>				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>担当は窓口。</p>				

8. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜 安武 工藤
<p>〈概 略〉 館蔵資料を貸し出す。</p>				
<p>〈ねらい〉 他館等への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉 博物館・研究機関・学校 など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	久保埜 安武 工藤
<p>〈概 略〉 館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。</p>				
<p>〈ねらい〉 個人や会社などへの協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉 個人・博物館・学校・会 社 など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

9. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜
<p>〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。</p>				
<p>〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に 応じて実施）	—	学芸員
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 古美術店・古書店 など	
〈備 考〉				

10. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
〈概 略〉 虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				
〈ねらい〉 環境保全。			〈対 象〉 館内	
〈備 考〉				
2	燻蒸	6月29日（土）～7月8 日（月）	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜
〈概 略〉 館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉 資料の保全。			〈対 象〉 各種資料	
〈備 考〉 臨時休館日は7月2日（火）～5日（金）の予定。				